

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学専門演習Ⅳ			必修	2	4	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
齊藤 晋治 他		B308	s-saito		水曜・木曜 12:10～13:00	
授業の目的・概要		<p><目的> 4 年前期までの学習を踏まえ、社会福祉専門職としての知識を再確認し、社会福祉専門職として必要な実践的知識を習得する。これまでの学習を通し、社会福祉専門職として必要な理論の獲得を目的とする。</p> <p><概要> これまで学習してきた科目の総合学習を中心に、社会福祉士、精神保健福祉士になるために必要な知識、技術、価値を理解し、専門職としての知識の定着を図る。</p>				
学習上の助言		社会福祉に関連するすべての科目について復習をおこなっておくこと。				
教科書		特に指定しない				
参考書		特に指定しない				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉専門職に必要な総合的な知識を身につけることができる。				HSU(2) (6)	
②	社会福祉分野の諸問題について理解できる。				HSU (6) 社精(1)(2)	
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	授業オリエンテーション、授業概要の説明を受け、学習方法を理解する。	登校型授業講義 GW	レジュメの整理			4
2	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。①	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
3	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。②	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
4	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。③	登校型授業講義 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
5	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。④	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
6	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑤	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
7	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑥	登校型授業講義 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
8	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑦	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
9	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑧	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
10	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑨	登校型授業講義 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
11	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑩	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
12	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑪	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
13	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑫	登校型授業講義 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
14	社会福祉士・精神保健福祉士に必要な知識を総合的に理解する。⑬	登校型授業演習 GW	次回領域の確認、レジュメの復習			4
15	まとめ グループワーク、討論 (ディスカッション)	登校型授 GW・討論				4
試						

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	0	0	90	10	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	60	0	60	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	30	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①	✓	講義ごとに配布する課題のレジメを時間内に取り組み。課題の進捗状況、達成度によって評価を行う。				講義の終了時に、内容と到達度についてコメントする。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	課題に対する取り組み姿勢、意欲について積極性、継続性に関して評価を行う。				定期的に面談をおこない、フォローアップをおこなう。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							

備 考

社会福祉専門職を目指す者は、いずれかの教員のクラスに所属すること。
 事前事後学習で示している必要時間数は最低限の時間であり、積極的に自己学習時間を設けること。

担当教員：◎齊藤 晋治、梅沢 佳裕、古川 奨、渡邊 隆文